

文芸コーナー

短歌

加藤恵美子選

俳句

田口 三石選

夕暮れて改札出づれば寒風にしろじろと咲く辛夷の花見ゆ
小倉台 小澤 芙美子
常よりも大きな音にてラジオ聞く夫の帰宅ひとり待ちつつ
大森 小島 綾子
農園を借りて夫が作るもの不揃ひなれど皆味の良し
美瀬 瓦井 タミ
雨の中ほのかな香りに立ち止まる垣根の先に沈丁花咲く
竹袋 久保木 朋子
飛び交ひつつ鋭き声上げ争ひてゐたる鳥去り庭静かなり
木刈 河合 央子
山畑に種蒔くごとく飛花落花
内野 関根 晴美
声呟えて里にひと恋ふ初音かな
大塚 廣島 直之
白髪の少年少女若葉風
小倉台 橋本 祐子
花明りの中に闇ある大樹かな
小林 池田 恭子
美酒汲みて絆深めし春の宵
滝野 大友 清子

＜短歌・俳句をお寄せください＞

一人一首または一句で未発表のもの。毎月 20 日締め切り（必着）です。投稿は、郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記の上、広報広聴課広報広聴班まで。

施設がいに



広報レポーター：
なつき 夏樹（木下東）
いずみ 泉

印西総合病院



平成 27 年 3 月 1 日に誕生しました
院長の原崎弘章先生（写真左上）



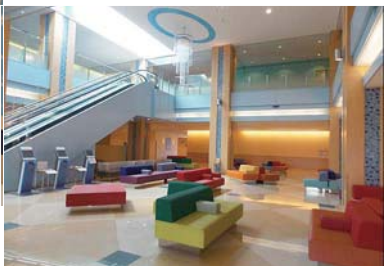
印西総合病院（牧の台 1-1）は前病院を引き継ぎ平成 27 年 3 月 1 日に平成福祉医療グループ 26 病院群の一つとして開院しました。二次医療機関が存在しなかった印西

市にとって、医療の充実という面で大きな期待が寄せられています。診療科目も、現在は内科、小児科、整形外科をはじめ外来 9 部門を開設、入院部門は医療療養病床 60 床、回復期リハビリテーション病床 40 床、4 月から新入職員 32 人を得て、一般病床 35 床を開設し計 135 床を有し、夜間、休日の救急外来も積極的に受け入れて

います。特記すべきは、高い循環器領域のサービスを提供するために、日本のトップを誇る千葉西総合病院との提携が始まったことです。三角和雄院長が、糖尿病、循環器専門医の先生とともに毎週診療をしています。5 月には耳鼻咽喉科の開設を予定しています。玄関を入ると病院というイメージよりホテルを思わせます。施設は新しい病院のコンセプトにあわせてリハビリテーション科を設置しています。現在、磁気共鳴画像装置（MRI）の設置やデイクアの開設を目指して、工事が進められています。特に印象に残ったのは、小児科の施設です。待合室やトイレなど、受診する子どもに安心感を与えるような内装になっていきます。また、「子どもの体調は



▲小児科は明るく優しい雰囲気です



▼吹き抜けの空間から日差しが降り注ぐ待合室

悪いけど、仕事は休めない」などの事情があるとき利用できる病児・病後児保育ス

ペース「おひさまルーム」が設置されています。2 階の病室前の廊下はとも幅が広く、リハビリテーションに活用されています。院長の原崎弘章先生は、心臓血管外科医としてアメリカのクリーブランドクリニック正教授を務め、多くの心臓血管専門医の育成に力を注がれました。先生は「地域の医療需要に応える総合病院として患者さん中心の質の高い医療を提供していきたい。日本医科大学千葉北総病院やほかの病院と連携を深め、より高度な医療が受けられる病院を目指したい」と話してくれました。住みよさランキング日本一の本市にとって、印西総合病院の開設は、私たち、市民にとって心強い存在となりそうです。

●印西総合病院（☎33000）。

ほっとレポート



広報レポーター：村形 彰治（小林北）



決戦に向け作戦会議中

体育館の広い床一杯に息をそろえて床を鳴らして跳ぶ縄跳びチームの姿があります。これは単なる縄跳びではなく格闘技の一種であるとの強い印象を受けました。

迫力十分
第16回青少年長縄跳び大会



1月31日松山下総合体育館で青少年長縄跳び大会（印西市青少年相談員連絡協議会）が開催されました。平成 12 年に第 1 回大会が始まり、今年で 16 回目を迎える恒例行事です。今回の参加チームは市内から 24、白井市から招待チーム 3 の合計 27 チームで競います。ルールは簡単で 30 秒間で一番多く跳んだチームが優勝です。予選は上位 16 チームが準決勝へ進み、さらに上位 8 チームが決勝へ進みます。チームは小中学生による 10 人、15 人で編成され両端に各 1 人の縄を回し手と跳び手が息を合わせ縄を跳びます。全員が息をそろえ足を上げ

話を伺いました。「娘がチームの回し手として 3 年目。肩が痛くなるほど毎朝熱心に練習しています。選手全員で協力し成長する姿が頼もしい」とのこと。大会会長の川村さんは「青少年相談員連絡協議会の 2 大行事の一つとして相談員全員で熱心に取り組んでいます。子どもたちがパートナーシップを養い成長していく姿を見るのは本当に楽しい」と話してくれました。



みんなが息を合わせてジャンプ

床を踏みならし跳ぶ姿はまさに壮観です。途中で失敗しても、また全員で跳び直し一回でも多く跳ぼうとする姿に感動しました。熱心に応援している大森小学校チームのお母さんに

今年の優勝は決勝で 71 回を跳んだ小林北小「ユニコーン」チームでした。監督の平本先生は「4 年 5 年生を中心とした選手 10 人のチームで毎朝 30 分熱心に練習した結果です。こ



優勝した小林北小学校「ユニコーン」チーム

れからもユニコーン一角獣の名の通り力を合わせて前進していきます」と力強い言葉で答えてくれました。大会最高記録の 93 回には届かなかったが、選手、チームの気持ちの伝わり迫力満点な大会でした。

リサイクル情報広場

掲載情報は平成 28 年 4 月 25 日現在
●クリーン推進課クリーン推進班（☎内線 383）

◆ゆずります情報

①五月人形②ダイハツ ミラ 純正スタッドレスタイヤ③テーブル用ベビーカー

◆さがしています情報

①補聴器②木刈小学校体操服上下③しおん幼稚園女子制服上下④鍔物製の羽釜⑤スピードラーニング初級 16 巻テキスト付⑥布佐台幼稚園男子夏制服⑦ダイニングテーブルセット⑧きかり幼稚園女子制服体操服一式

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月 5 日は「ノーレジ袋デー」です。
お買い物にはマイバッグを持参しましょう。

